



～安定したごみ処理の実現と新クリーンセンター建設に向けて～

環境影響評価現況調査が始まる



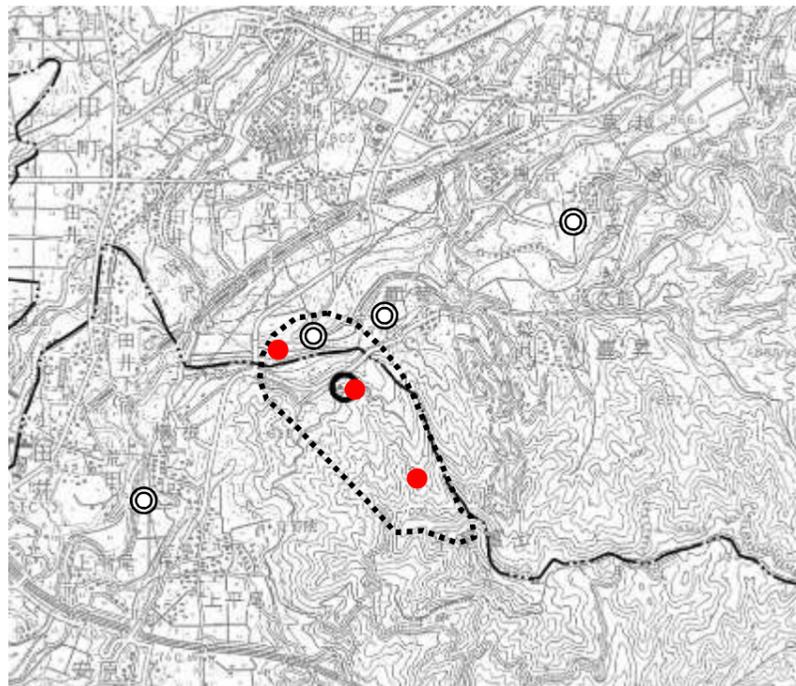
▲動物調査(猛禽類定点観測)の様子

平成25年1月24日、新クリーンセンター環境影響評価の現況調査が本格的に始まりました。

各調査項目の中で最初に実施する動物調査(冬季調査)は、1月24日から31日までの約1週間の日程で残雪の中、鳥類、猛禽類(ワシ、タカ等)及び哺乳類に係る調査が行われました。

また、2月1日からは対象事業実施区域(建設候補地)と面替区上尾崎の2地点において、地上気象の通年観測が開始されました。

春からは、特に関心の高い大気質等の季節ごとにおける調査が始まります。



◎ 猛禽類調査定点 ● シャーマントラップ・通年用無人撮影機設置地点
.....動物調査範囲 ○ 対象事業実施区域(建設候補地)

動物調査(冬季調査)では、4か所で2日間猛禽類の定点観測を、3か所で2晩に渡る哺乳類生け捕り用の罠(シャーマントラップ)と無人撮影機を設置し個体の捕獲及び撮影を試みました。

また10月までの通年用無人撮影機を3か所に設置し観測が始まりました。

その他建設候補地の南側市有林2か所に、ヤマネなどの哺乳類確認用巣箱が20個設置されます。

猛禽類以外の鳥類調査は、調査範囲内を踏査し、その際に出現する全ての鳥類の種名、数を記録する任意観察と、観察ルートを設定し一定速度で歩く間に出現する鳥類の種名、数を記録するラインセンサス法により調査が行われました。



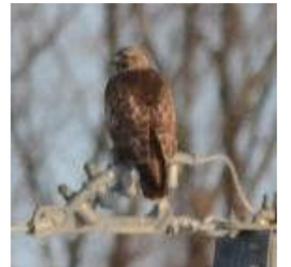
▲無人撮影機が撮影したタヌキ

これから春を迎え、動物の活動も活発になってきますので、多くの個体が確認・撮影されると思います。調査範囲にどのような動物が生息しているのか、更に詳細な調査が進められます。

これまでの動物調査(冬季調査)により、カルガモやカワラヒワ、ハイタカ、ハヤブサ、ノスリなどの鳥類・猛禽類に加え、イノシシやニホンジカ、ニホンリス、タヌキなどの哺乳類の個体やふんなどの痕跡が確認されました。

今後も猛禽類については、8月までの間、毎月2回、定点観測地点における行動圏調査が行われます。また繁殖や営巣の状況についても適切な時期にそれぞれ調査が予定されています。

猛禽類以外の鳥類や哺乳類についても、それぞれ季節ごとに調査期間を設定し、調査が行われます。



▲横根区平根橋付近から撮影されたノスリ



▲建設候補地に設置された風向風速計、放射収支計

地上気象通年観測は、2月1日から来年の1月31日まで建設候補地と面替区の2地点で連続して調査することになります。

建設候補地では、風向、風速、気温・湿度、日射量、放射収支量が、面替区上尾崎では風向、風速、気温・湿度が測定されます。

その他、御代田町と佐久市を合わせた16地点で、季節ごとの地上気象等の調査が予定され、機材の設置作業を3月頃から着手し、4月から地上気象、大気質等の調査が行われます。

16地点のうち、御代田町の9地点に右の写真のような風向風速計(高さ10mのポール)が設置されます。また、一般環境大気質の調査を同時に行う地点については、間口2m・奥行2m程度の測定小屋と一緒に設置されます。

一般環境大気質の調査は、降下ばいじん、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、ダイオキシン類、塩化水素について吸引孔から現場の大気を採取して分析します。

各地点における調査項目等の詳細については、各戸配布されております「新クリーンセンター建設に係る環境影響評価現況調査・予測・評価のあらまし(パンフレット)」をご覧ください。

調査地点周辺にお住まいの皆さま及び調査地点周辺をご利用の皆さまには、調査期間中ご不便をおかけいたしますが、このような現況調査は、環境アセスの予測・評価のベースとなる大変重要なものですので、ご理解とご協力をお願いいたします。



▲面替区上尾崎に設置された風向風速計



環境影響評価現況調査スケジュール案

御代田町に関する現況調査地点ごとに、今後の調査スケジュール案をまとめました。今後の業務進捗状況や調査状況により、スケジュール案には変更が生じますので、概ねの目安としてご覧ください。

地点名	調査項目	平成25年												平成26年			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2		
建設候補地から200m程度の範囲、建設候補地の両側谷部を含む小流域を中心とした範囲及び湯川を中心とした範囲(面替区、児玉区周辺) ※猛禽類の定点観測地点は、建設候補地を見渡せる地点を別途選定	植物(植物相、注目すべき個体・集団・種及び群落)																
	植物(植生)																
	動物(哺乳類)																
	動物(鳥類)																
	動物(行動圏《猛禽類》)																
	動物(営巣場所《猛禽類》)																
	動物(繁殖状況《猛禽類》)																
	動物(爬虫類・両生類)																
	動物(昆虫類)																
	動物(魚類)																
動物(底生生物、陸・淡水産貝類)																	
面替区(上尾崎付近)	一般環境大気質																
	地上気象																
	環境騒音・振動																
	低周波音																
	悪臭																
面替区(面替橋農地付近)	一般環境大気質																
	上層気象																
	悪臭																
面替区(大星神社境内広場)	地上気象																
	悪臭																
面替区(大星付近)	水質(河川水)																
	水質(地下水)																
面替区(集落内井戸2ヶ所)	水象、地盤沈下(地下水位)																
	一般環境大気質・地上気象																
豊昇区(梨沢公園)	悪臭																
	土壌汚染																
	地上気象																
豊昇区(成穂寺付近)	一般環境大気質・地上気象																
	悪臭																
	土壌汚染																
豊昇区(久能水源、久能沢川)	水質(河川水)																
	地上気象																
広戸区(草越広戸農業集落排水処理場)	土壌汚染																
	一般環境大気質・地上気象																
草越区(草越ゲートボール場)	悪臭																
	土壌汚染																
向原区(向原公民館付近)	地上気象																
	土壌汚染																
大林地区(御代田南小学校付近)	一般環境大気質・地上気象																
	悪臭																
児玉区(飯綱タウン付近農地)	地上気象																
	土壌汚染																
児玉区(町道東林2号線〔ふるさと農道〕交差点付近)	沿道環境大気質																

ちよつとそこまで

厳寒の奇祭 草越の寒の水

日に照らされた残雪が次第に蒼白く染まり、日没が近づく頃、法螺貝を吹く音が真冬の集落に響き渡り、寒行の始まりを告げる。

1月20日大寒の夜、草越区では五穀豊穡・無病息災、年番宿の繁栄を祈願して、長野県無形民俗文化財に指定されている「寒の水」が行われました。明治時代の中頃までは、御岳の行者が祈祷や験術を行い、1月20日の夜には、集落の家が神宿となって行者と村人を集め寒行を行ったそうです。時が経ち、いつしか行者が姿を消した後も村人の年中行事「寒の水」として後世へ受け継がれていきました。



午後4時過ぎ、水行者(寒の水行に参加する男衆)は、年番宿の家を訪れ天照大神、御岳八海などの掛け軸が飾られた祭壇に参拝し、公民館へと向かいます。公民館では「兜巾」と呼ばれるわらでできた冠が作られ、水行者が集まるといよいよ始まる寒行に向け日本酒と粕汁で心身を温めます。

午後6時過ぎには、赤いふんどし一つで大寒の夜に飛び出し、桶から溢れる澄みきった冷水をかぶると、カメラのフラッシュと水しぶきで辺りは光り輝きます。寒さに震えながら歩く者、威勢よく声を上げながら走る者、水行者は集落を冷水をかぶりながら進み、鎮守熊野神社に兜巾を奉納します。



公民館前に戻ると、水行者は赤々と燃え上がるわら火を囲みます。赤みを帯びた肌とふんどしから上がる湯気に包まれ、炎と暗闇に映える男衆の姿はとても幻想的です。冷えた体をわら火で温めながら「ふんどしが乾くまで…」と、今度はじっと熱さに耐えるのです。

今年の寒の水は、99名の参加となり、足りない分のふんどしを作るなど、区内外から多くの人達が水行者として参加しました。今年で7回目の参加になりますが、道に残る雪と吹き抜ける風が寒さを更に引き立て、昨年よりも足取りが早く感じました。着替えを済ませ、公民館で振舞われる日本酒と熱い豆腐汁を口にしたら、今年も無事終わってよかったと達成感が込み上げてきます。地区に伝わる伝統行事に参加し「裸の付き合いは大切だな…」と思い抱いた大寒の夜でした。(ゆ)

編集後記

昨年12月1日から今年の1月31日までの2ヶ月間、佐久平駅隣接の佐久ミレニアムパークにて、佐久市、観光協会、商工会議所、青年会議所、JA等が実行委員会を組織し「SAKU BLOOM イルミネーション2012～光の花が咲く～」が開催されました。期間中は、様々なイベントが企画され内容も充実したものでした。イルミネーションは、その数も多くまた至るところに工夫がされ見応えがありました。広場や公園などを有効活用し、単なるイルミネーションだけに留まらず様々なイベントを取り入れたSAKU BLOOM。御代田町も綺麗な公園や有効活用できそうな場所がたくさんあります。夏だけではなく、寒い冬でも人が集まる、人を集める魅力づくりに今後も挑戦できればと感じました。寒い日が続きますが体調を崩さないようお気を付けください。春はすぐそこまで来ています！

【発行】 御代田町 町民課 環境衛生係
御代田町大字御代田 2464 番地 2 電話：0267-32-3111 (内線 47)
【佐久市問合せ先】 佐久市 環境整備推進局 新クリーンセンター整備推進室
佐久市中込 3056 番地 電話：0267-62-2111 (内線 492)